



あなたが  
主役!!  
ふるさと  
文化!!

1997年(平成9年)3月1日(季刊)

第 14 号

発行所

財団法人 中條文化振興財団

〒760 高松市中央町5番28号 青井ビル4階

TEL・FAX (0878) 34-6790



中條文化振興財団の事業の一環を担う拠点として、この度茶室が完成し、四月十五日に茶室披露を行いました。

## 茶室の完成に

### あたつて

財団法人 中條文化振興財団

理事長 木 村 等

当中條財団は、故中條晴夫氏が、文化の継承と創造、特に香川に於ける、香川の地に根ざした文化活動に寄与することを目指して、私財を投じて設立されたものであることは、皆様既に御承知の通りであります。

氏は茶道に大変関心を持っています。茶室を建てる計画

また今日のことであるから立札席も設けたい。さらには、氏を記念するものとして、長く後世に伝えて行けるようなものとしたいという願いも、持つたものであります。

このような考え方のもう一つ、一休寺、光悦寺など文化財の建物を手がけられた数寄屋研究所、心

茶室は松平家の茶頭であった、官休庵の家元において、美しい玉藻と願いして、美しい玉藻という意味の「美藻庵」という庵号をいただきました。財団といたしましては、この茶室を流派を問わず茶の湯を嗜む数多くの方にご利用いただいて、一期一会の場としてお役に立つことを願う次第でございます。

このための積極的参加と意見を多く頂戴したいのだ。乞うご来場!!

しておられたのであります。それが、氏の御逝去という思いがけない出来事によつて、遺言という形で財団に託されることになったのであります。

財団としては、氏の御遺志に添うものとして、茶の湯本来の「茶事」のできる茶室、それに加えて、「大寄せ」の茶会もできるような建物としたい。

建物の名称は、中條晴夫氏のお名前の一字をいだいて「晴松亭」とし、茶の湯の讃岐の史実に基づいて、扁額を松平頼武様にお願いいたしました。



「梅だより」か  
ら「桃だより」  
へと春の足音は  
着実に近づいて  
いる。生きもの  
の「春」への期待と憧れは  
始から20世紀末の今日  
まで変わらない。▼故中條  
晴夫氏が希求し、県下の  
茶人待望の茶室が桜花爛漫の四月に完成・披露する。時あたかも第12回民文化祭かがわ'97が開催される記念の年に茶道文化の殿堂が誕生する。▼茶を愛する人だけでなく、文化に関する活動家が「活用」の文字通り自由な発想で存分の利用をして頂きたい。いろいろな文化施設を見聞するに、利用者軽視の管理が横行。仏造つて魂入れずの觀があるのは淋しい。▼県民の期待を満たし、よろこんで集う「文化の器」であります。

◎

# 茶室

美藻庵  
晴松亭

## 完成する

### 茶室披き・記念茶会など

財団法人中條文化振興財団が、昨年の春から着工していた茶室（高松市番町）がこのほど完成し、四月十五日（火）に披露される。

#### 茶室披き

#### 流派記念茶会

茶室の一般公開に先だって財団主催の「茶室披き」が四月十五日（火午前）十時から行われる。

この「茶室披き」には、

武者小路千家、官休庵十

四代千宗守家元により席

披露の式の後、茶事形式

の茶会が行われる予定で

ある。当日は、財団の認

可者である香川県知事を

はじめ財界、経済界、県下

茶道諸流派の指導者、文

化団体代表者など約百名

の人が招待される。

茶席は、濃茶、薄茶と

膳席の二時間三十分で、

三席となっている。

29日（日）  
26日（土）  
27日（日）  
24日（木）  
20日（日）  
19日（土）  
17日（木）  
18日（金）  
14日（木）  
10日（木）  
6日（木）  
2日（木）

（祭）  
（祭）

習軒流

表千家流

土井宗保先生

高松通仙社

- 茶会と主催諸流派
- 茶席券ご案内
- 茶席券ご案内
- ※ 茶席券は、一万円
- ※ ご希望の方は、日程、時間などを財団事務所にお問い合わせ下さい。
- ※ 香道の日程表は別になります。

美藻庵・晴松亭  
完成予想図（心傳庵）

30日（水）  
5/1（木）  
（社）茶道裏千家  
淡交会高松支部  
● 茶席ご案内  
(席入時間と終了時間)

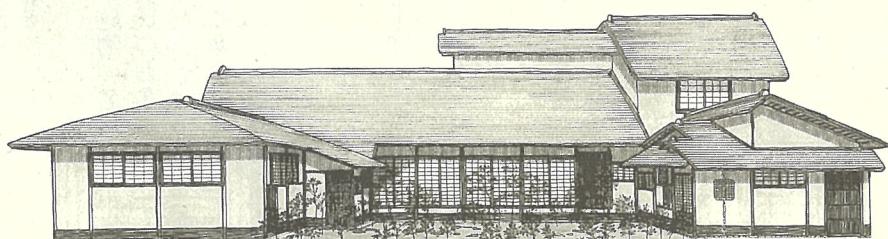
一席 午前九時二〇分  
午前十一時五〇分

二席 午前十一時

午後一時三〇分  
午前十一時五〇分

三席 午後二時二〇分  
午後一時三〇分

四席 午後一時三〇分  
午後四時



#### ◆事務所移転◆

4月からは下記の住所になります。  
高松市番町二丁目  
1番12号

TEL(0878)26-3355  
FAX(0878)26-2212

財團評議員  
安藤雅實氏死去す

財團評議員安藤雅實氏が一月十日午後三時四十五分日赤高松病院で死去した。七十二歳。

氏は四国詩人の会代表、高松市文化協会常任理事、高松市文芸協会会长、香川県詩人協会会长などを歴任。告別式は、一月十二日午後一時半から日本キリスト教団高松教会で行われた。

着工	平成八年三月十八日
地鎮祭	五月二十一日
上棟式	七月二十一日
完成	平成九年四月上旬予定

## 豊かな自然と史跡の町で

### 生涯学習推進の中に



会長 岸本 正義

名でスタートしました。

以来十四年の星霜を経る間に幾多の起伏を越えて、ようやく現在のよう

な名実共にオープンな町

民による町民のための生

涯学習グループが育まれ

てきたのです。現在の会

員数約八百名を有し、組

織的にも、内容的にも一

段と充実。

折しも、平成八年度か

ら三年間、「生涯学習の

まちづくり」研究指定を

受けたところあります。

(例えば、「みろく手作り

会」では、陶芸、竹細工

の部門で、町内外、年齢

を問わず、「学習体験コ

ーナー」を用意し、年間

約三百名が参加)

している団体もあります。  
〔文化祭〕(展示部門)

町文化祭(おおかわ生涯学習まつり)、文化講演会(生涯学習講演会)の企画・運営等に積極的に参画しています。

また、加盟団体においても、独自のアイデアで生涯学習推進事業を実施



「文化祭」(芸能発表会)

して定着しています。

#### 〔文化講演会〕

文化講演会も協会設立当時より毎年開催しています。今年度は、五月の総会に引き続いて「大川郡の方言いろいろ」というテーマで研修しました。

また、二月には、従来の講演スタイルを変え、東京からプロの演奏家を招き、「サヌカイト演奏会」を開催することにしています。



●概要  
昭和五十六年頃、町民自ら学ぶ活動をめざし、自らが運営していくグループに対するため、当時の教育委員会が音頭をとり郡内近隣他町で既に結成された文化協会を大川町でも設立しようといふ気運が高まり、昭和五十八年三月、ようやく七部門(音楽、美術、文芸、芸能、歴史、民俗、生活、文化、趣味)など十九団体、会員数約五百

平成八年度は、加盟団体も三十六団体となり、町内の生涯学習の推進の中心的役割を果たすため



「文化講演会の光景」

サークル  
紹介

人形劇研修所  
**木偶塾**



池原由紀夫 作

子どもに喜んでもらえる人形劇としてだけではなく、大人にもひとつ芸術として受け入れてもうれるために、人形の操り方、演技方、人形づくりまでをみんなで勉強しているのが、「人形劇研修所、木偶塾」です。

そもそも木偶塾は、県内で人形劇活動をしていたアマチュアサークルの中から、百年以上の歴史を持つ西畑（さいばた）人形芝居の継承者池原由起夫氏のもとに集まつた九名の塾生と三名の第一

修所、木偶塾」です。人形芝居は、県内で人形劇活動をしていて、人形劇研究所、木偶塾」です。

期研修生によつて構成されています。  
三木町を始め各地で公演活動を行つています。

主な活動

(一) 人形劇の研修研究活動

① 人形劇を創る

② 人形劇の稽古あり

③ 人形劇教室の開催あり

④ 人形劇団との交流・学び合いあり

⑤ 内外の人形劇鑑賞会あり

(二) 人形劇の上演

・木偶塾で創作した人形劇の発表

人形劇場建設

好きな時間に、いつで

も人形劇に打ち込みたい

との願いから、昨年六月

に木田郡三木町井上に稽

古場を建設しました。

最初は、大人ほどの背

丈もある草を刈ることか

ら始まり、知人にエンボ

で土地を整地してもらい

そこにプレハブ（二十一

坪）を建てることができ

ました。そして、塾頭池

台や作業場を作ることが

できました。また、知人

から人形劇に関する書籍

の寄贈を受けることがで

きました。

私達だけでは、決して

できなかつた稽古場も大

勢の協力で実現しました。

今年度の主な活動

・木偶塾フェスタ

十一月頃に三木町において、新作の人形劇を発表したいと考えています。

どんな新作をお見せできるか、私たちも今からドキドキしています。

・人形劇場わくわく

八月頃にさぬき子ども

の国において、アマチュアサークルによる人形劇発表会を予定しています。

多くのサークルによる楽しい発表会ができるよう頑張ります。

・木偶塾稽古場一周年記念行事

六月で、稽古場一周年を迎えることになります。

そこで地元井上の方々や

建設に協力していただい

た方々にお集まりいただき、人形劇を楽しんでもらつたり、私たちの一年

間の活動報告を聞いてもらひ、より一層のご理解とご協力をお願いしたい

と思います。

・定期会 毎週木曜日

十九時半～二十一時半

・研修場所 木偶塾

三木町井上1228

TEL 98-4264

・研修内容 人形劇全般

・会費 六千円

・問い合わせ、申し込み

今出洋子 98-1591

竹本謹士 47-8055

第一期研修生募集

人形劇に興味をもつてい

る人ならどなたでも参加で

きます。ぜひ私たちと一緒に人形劇を学んでみませんか。

・研修期間

平成九年四月三日(木)

～九月四日(木)

**木偶塾** 手作りの稽古場

## つるへの恩返し

観音寺につるを呼ぶ市民の会

事務局長 川人 洋造さん



「この」「ひと」と書かれた手書き風の文字が並んでおり、その間に川人洋造さんの肖像写真が掲載されています。

「つるの恩返し」といふ昔話がある。与ひよう人に助けられた鶴の化身、「つう」は、その恩返しにと、自分の羽を抜き、はたを織り、美しい反物を残して飛び立っていく。

川人氏は言う。現代は人間がツルに恩返しをしなければいけない時代だと。ツルは最も人間に近い野性の鳥であり、人間をよく知っている鳥であ

る。かつ、警戒心が非常に強い。ツルを語る川人氏の眼差しは熱い。ツルが飛来する条件とは、自然環境が良いこと、人間がツルを恐れさせないこと、だそうである。つまり、豊かな自然があり、自然を見つめる優しい人間が住む土地に、ツルは舞い降りてくるわけだ。

昔は西日本にも、たくさんの方にツルが飛来していたそうである。ところが環境の破壊、それに伴う人の心のおごり……

会発足一年半後の一九八六年三月、一羽のマナヅルが三豊干拓地に舞い降りた。九日間、心ある人々に見守られ遊休し、飛び立つていった。まるで『ツルを呼ぶ会』を激励にきたかのようなできごとである。

会発足一年半後の一九八六年三月、一羽のマナヅルが三豊干拓地に舞い降りた。九日間、心ある人々に見守られ遊休し、飛び立つていった。まるで『ツルを呼ぶ会』を激励にきたかのようなできごとである。

と笑う。

ツルへの恩返しにゴミ収集。大上段にかまえることなく、身近にできる評論家が多い。昨今、とても大切な心を伝えてもらつた気がする。



「つるを呼ぶ市民の会」メンバー

観音寺につるを呼ぶ市民の会発足10周年記念

### 豊かな自然を求めて

#### シンポジウム

基調講演 C.W.ニコルさん  
とき/平成9年3月18日(火)

午後6時30分開会、午後7時講演  
ところ/J A 観音寺農協会館大ホール

問合せ/川鶴酒造株式会社内

観音寺につるを呼ぶ市民の会事務局  
TEL (0875) 25-0001

川人氏は、酒蔵を利用した『鶴鳴館』を開放し、コンサート等に場の提供をしている。そこに生きるやさしい人間、そんな地球でありたいと……。川人氏のロマンは、まだまだ限りなく広がっていくことであろう。

豊かな自然、そして、

川人氏は、酒蔵を利用した『鶴鳴館』を開放し、コンサート等に場の提供をしている。



# 文化の器

ギャラリーツアールト

坂出市江尻町1729-21  
TEL (0877) 44-1665

ルトは建つてゐる。  
う。 穏やかで物静か  
ナ一村松正氏にお

——ギャラリーを開設したのはいつですか？

二年前  
一九九五年の  
夏です。

——どうしてギャラリーをしようと？

高松からさぬき浜街道を坂出に向かい、ひた走る。坂出に入り、幹線道路を少しほざれたところに何気なく、ともすると見過ごしそうなほど、何気なくギヤラリーツアーツ

物 자체は九二年に建てて、応接室を設けたんです。じゃあ、絵でも飾ろうかと。若い頃、絵を勉強してましたので、つきあいのあるおもに東京で活躍している作家に声をかけ

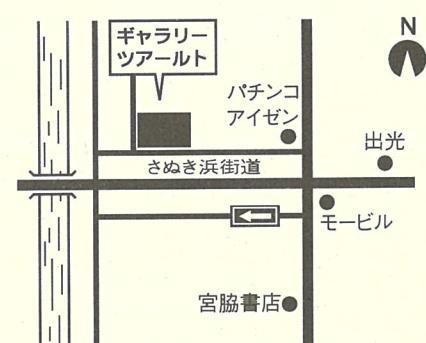
「……ないですね。愛着のあるものを飾る、というふうになつてくれれば、と願つてゐるんですが……。」  
——ギャラリーツアールトの個性は何だと思われますか？

—— 売絵としての企業ペー  
スでなく、絵書きとして  
作家をめざして いる人の  
為の空間、ですかね。  
—— 若い人を育てていく  
空間でありたいと?

とんでもない。育てる  
なんておこがましいです  
よ。僕の方が作家から工  
ネルギーをもらつてるん  
ですから。夢を描いて、

商売にならない、といふことはわかりましたね。でも、やめるわけにもいかず、作家の希望がある限り、続けていこうと思っています。香川県は、

訪れる  
客様に 対して  
何か?



- これまでの主な企画展

糸井邦夫個展  
宮本詢子水彩画展

岡田真宏展

石川功立 不久作  
宮武裕個展

備前渡辺節夫作陶  
山口実個展

● ひろはたゆうこ木版画展

藤井孝次朗展

平成九年三月十五日  
（三月二十三日）

# 催し物情報

●豊浜町中央公民館 ☎ (0875) 52-3111  
 3/28~30 書道・和紙人形展(町文化会館)  
 4/29~5/3 第五回アマチュア陶芸展(町文化会館)

●仁尾町文化協会 ☎ (0875) 82-2143  
 4/6 観桜茶会(門前公会堂)

●観音寺市民会館 ☎ (0875) 23-3939  
 3/2 みとよ民踊まつり  
 9 西野ダンス・マイム研究所第8回発表会  
 10 桂こけ枝寄席(中ホール)  
 13 高森和子講演会(中ホール)  
 16 久保和範コンサート  
 22 入学おめでとう大会(四国新聞社主催)  
 23 '97子どもフェスティバル  
 27~30 ピアノ・エレクトーン発表会  
 4/13 せせらぎ会ピアノ発表会  
 17~21 香川県華道協会県展(中ホール)  
 20 大正琴演奏会  
 27 琴弾歌謡同好会発表会

●多度津町民会館 ☎ (0877) 33-3330  
 3/16 フレンド2ndコンサート  
 4/29 カワイ音楽コンクール四国大会  
 5/11 第32回多度津芸能音楽祭

●多度津町中央公民館 ☎ (0877) 33-0760  
 4/20 第32回多度津芸能音楽祭

●善通寺市教育委員会 ☎ (0877) 63-6328  
 5/5 獅子舞大会(讃岐宮)

●丸亀市民会館 ☎ (0877) 23-4141  
 3/17 丸亀高校芸術発表会  
 21 香川市民劇場「君は今何処に」  
 23 第15回丸亀高校吹奏楽部定期演奏会  
 27 香川演歌まつり  
 30 絹美穂会春のおどり  
 5/12 中村紘子ピアノリサイタル  
 15 丸亀お城まつり前夜祭  
 23 香川市民劇場「はつ恋」  
 25 松平健全国縦断特別公演「暴れん坊将軍」

●丸亀市立資料館 ☎ (0877) 22-5366  
 3/1~4/6 展示「近世・近代の絵画展」  
 3/2~16 展示「矢野秀徳影刻展」(仮称)  
 4/26~6/1 展示「築城400年記念 生駒・山崎・京極三代の歴史と文化展」  
 4/26~6/1 展示「城郭写真展」(仮称)

●丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎ (0877) 24-7755  
 ~3/30 佐藤忠良と猪熊弦一郎展  
 3/1 小中高生対象 和波孝喜ミニコンサート  
 3/1 和波孝喜ヴァイオリンコンサート  
 4/12~6/8 ジム・ダイナー身体の比喩

●丸亀市文化協会 ☎ (0877) 24-8826  
 5/16~18 第30回丸亀市民展覧会(丸亀市民会館丸亀市総合会館)

●坂出市民ホール ☎ (0877) 45-1505  
 3/9 子供向映画上映「ドラエモン」  
 30 民謡三絃文絵発表会  
 4/6 溪風吟友会 30周年吟詠大会  
 5/14 中国音楽会  
 18 近藤バレエ研究所勉強会(バレエ発表会)  
 25 春千寿会舞踊公演(日舞)

●綾上町教育委員会 ☎ (0878) 78-2305  
 3/16 町民コンサート(綾上町農村環境改善センター)

●綾南町文化協会 ☎ (0878) 76-1180  
 3/8 露の新治寄席(JA綾歌南部本所大ホール)

●飯山町教育委員会 ☎ (0877) 98-7964  
 3/2~14 手作り作品展 中央婦人会級(役場別館作品展示室)

●町立塩江美術館 ☎ (0878) 93-1800  
 ~4/21 熊野俊一油彩作品展

●香川県民ホール ☎ (0878) 23-3131  
 3/1 スピックコンサート  
 9 青春ラブソディ高松編  
 14 香川ヨーガ道友会チャリティ文化講演会  
 19 明治大学マンドリン倶楽部演奏会  
 20~21 よしもとグランド花月シアター  
 22~23 スズキ楽器幼児科合同発表会  
 28 中村勘九郎・勘太郎・七之助 舞踊競演会  
 4/9 中国放送民族楽団  
 12~13 前進座公演「蓮如」  
 18 舟木一夫リサイタル  
 23 JUDY AND MARYコンサート  
 25 德永英明コンサート  
 5/11 第7回香川県琴城流大正琴愛好会発表会  
 18 高松喜風会  
 21 ロンドン・BBC交響楽団  
 23 ウィーン・フィル首席によるオペラ・ファンタジー  
 24 マスクプレイミュージカル「7ひきのこやぎと狼」  
 25 由紀さおり・安田さちこコンサート  
 31 ウルフルズ・コンサート

●香川県文化会館 ☎ (0878) 31-1806  
 3/7~30 「日本のわざと美」展

●高松市美術館 ☎ (0878) 23-1711  
 ~3/30 第5期常設展(視覚のトリック)「香盆の楽しみ」  
 3/7~30 菅井汲版画の仕事展 1955-1995  
 4/5~5/5 「ストックホルム近代美術館展」  
 4/5~6/22 「第一期常設展」

●高松テルサ ☎ (0878) 44-3511  
 3/2 ジ・アマデウスコンサートパート8  
 13 高松短期大学音楽科第20回卒業修了演奏会  
 16 ヤマハピアノエレクトーン発表会  
 20 高松北高合唱部第6回定期演奏会  
 22~23 グループグッチ第3回定期演奏会  
 30 ピアノ演奏会  
 4/5 ピアノ・エレクトーン発表会  
 13 漫莎莎那歌謡教室8周年カラオケ発表会演歌の華  
 20 第36回当道音楽会定期演奏会  
 26 井上直幸ピアノリサイタル  
 5/3 親睦カラオケ発表会  
 11 青い鳥音楽教室講師演奏会  
 18 日本郷土民謡協会四国地方連合会第16回四国大会  
 24~25 第4回うず潮歌謡スタジオ大発表会

●トリートホール ☎ (0878) 31-5001  
 5/18 マタニティ・コンサート

●セントラルホール・ウィング ☎ (0878) 33-0005  
 3/9 「ピアノ発表会」つくし会  
 18~23 「羽原一見金工作品展」  
 22 「ピアノコンサート」花崎桂子

